



銅版画との出会い

美術部 田中 茂



COPPERPLATE PRINT COPPERPLATE PRINT COPPERPLATE PRINT COPPERPLATE PRINT COPPERPLATE PRINT

小学生時代、通っている学校から数百メートル離れた丘陵地に寺院があり、授業の一環として写生会や初夏の体育授業が行われた。

本堂へは丘陵に2段につながる階段があり、一段目を昇った所に山門が両脇に力強く立ち、大きく見開いた両目で睨みつける金剛力士の筋骨隆々とした像が、子供心に自分の行動を見透かされたようで恐怖感を抱いた。

本堂では毎年入学式の頃「花まつり」が開催され、小さなお釈迦様像に甘茶を掛け両手を合わせた。巨大な金剛力士と繊細で小さな仏像の不思議さが記憶された頃です。

仏像彫刻は、現在のパキスタンで最初の仏像が、ギリシャ文化の影響で誕生しインドから中国、朝鮮を経て我が国へ伝来し、鎌倉時代に質実剛健といわれる力強い仏像として、頂点を極めたと言われている。

これらの彫刻は、寺院の大きな空間に佇む仏像の神秘さと、現在までの経緯を表現しているかのように重量感を感じる。

凹版画との出会いは、中学時代の美術教科で「ドライポイント」を学習したことです。

治具の鉄筆は割り箸に木綿針を差し込んで糸で巻いて固定し、下敷き状のセルロイドシートに課題である干支の「牛」を描画し、黒インクをねじ込むように詰め込み、ふきとり、シートに水にひたした紙を重ね、ローラーに挟み刷りあがった作品の濃淡が、貧弱だったことが印象的であった。

学生時代は美術史や国内外の芸術家に興味を持ち、画集などを見たり友人たちとの美術館めぐりは楽しい思い出である。

また教科の造形学は、三角形で構成する立方体を作図したり、曲面体は円筒形や球形と円錐形によって、組み立て検討したり、楽しい時間を過ごすことができた。

社会人になり、油槽所設備を担当する部門に携わり、設備の維持管理は機能保全と、その美観を維持することが、メンテナンスの基本であると先輩から教育を受けたことだ。

設備の構成部材は主に鉄鋼で、常に錆を防ぐことに注意が向けられていた。

「錆」の発生過程は、色の変化でわかる「赤色」「黒色」「黄色」となり「黄色」は「膿(うみ)」と同じで手

遅れた。

鉄鉱石は自然界で酸化鉄として安定していたものを、製鉄工程で還元エネルギーを加えられ鉄鋼材となり、製品後、腐蝕という酸化エネルギー作用で、元の鉄鉱石に戻ろうとする現象を示している。

この錆の発生が銅版画の制作過程を思い起こした。

銅版画のことをエッチングと呼ぶくらい代表的な腐蝕凹版です。

エッチングとは腐蝕の意味で、先が尖った鉄筆（ニードル）で銅版に描画し腐蝕液に浸けると、描画した部分が腐蝕作用によって腐刻線となる技法です。

多様な技法がありますが、銅版画は基本的に平らな銅板・アルミニウム・亜鉛板に凹みを作り、そこにインクを詰めて表面の余分なインクを、拭き取ってから紙に刷りとる凹版画です。

凹みをつくる道具で直接刻む彫刻凹版と薬品で腐蝕させる間接法の腐蝕凹版があります。

腐蝕液の薬品は、「硝酸と塩化第二鉄」等を使い、硝酸の腐蝕は、銅と硝酸で硝酸銅となり窒素ガスと水が発生し、銅が溶け出して、腐蝕液が青色変化し、このブルー色彩が美しく、銅版画を創る要因にもなっているそうです。

一般的な塩化第二鉄の腐蝕液は、銅が分解し液中に放出され、こげ茶色の腐蝕液は酸化鉄となり沈殿します。

私は、仏像彫刻の雰囲気は適切に伝わるよう、直接法のドライポイントとメゾチント、間接法のエッチングとアクアチントを習得中です。

メゾチント技法は、銅板上を細かく目立てて、ピロードのような漆黒の面をつくり、そこを削り出してトーンの濃淡をつくる方法。

アクアチント技法は、松脂の粉末を銅板に熱して固着させて腐蝕し、点の集まりによるトーンをつくる技法です。

製版はその版の状態が画面に表れたときどうなるのかを、想像をめぐらせながら銅板を腐蝕させることです。

古希を過ぎ、自宅では腐蝕液やプレス機など用意しにくい設備を備えているアトリエに通い、表現力豊かな描写を指導して頂ける若い講師と、きめ細やかに優しく教えてくれる助手の女性や、熟練者たちに囲まれて、イメージを構築することに苦慮しながら銅版画に向かっています。

日本を愛したゴッホのエッチング



フィンセント・ファン・ゴッホ《ガッシュ博士の肖像》1890年、
エッチング・紙、東京藝術大学大学美術館蔵

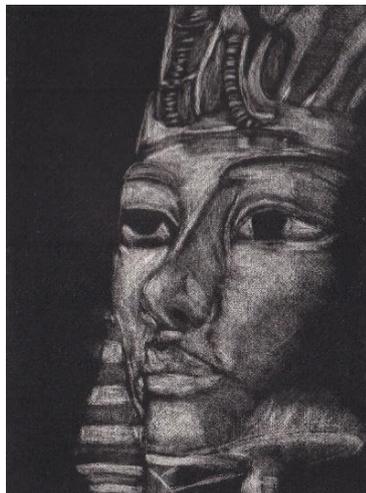
古希からの作品

【ドライポイントの作品】

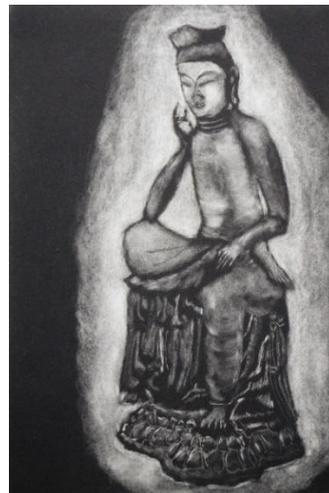


アフロ地藏

【メゾチントの作品】



王のマスク



弥勒菩薩像

【エッチング／アクアチントの作品】



水月観音坐像



大日如来坐像



如意輪観音像